

JETSの風

2 0 2 3 年 4 月 2 1 日
第 4 号
J R 東 労 組 運 輸 サ ー ビ ス 協 議 会
発 行 責 任 者 : 倉 茂 忠

運サ申1号「労働条件および労働環境改善に向けた申し入れ」提出 その①

「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」施策の実施から丸10年が経過しました。この間、会社が受託した構内運転業務、そして、車両検査に関連する業務に私たちエルダー出向・若年出向を担う組合員は日夜奮闘し取り組んできました。さらにプロパー社員に車両運転技術・車両検査技術を継承するための教育などにも全力で取り組んできました。

年月の経過と共に、これら受託業務を担うプロパー社員は確実に増えてきています。しかし、プロパー社員の養成は事業所間においてばらつきがあり、作業責任者などのより高いスキルを必要とする人材育成・技術継承に課題を残したままとなっています。

また、労働条件では年間休日数がJR本体より少ないなどの労働条件にかかわる課題も未だに改善されていません。さらに、清掃業務の過酷な労働実態等、労働環境にも多くの課題があります。プロパー社員が定着しない現実もあり、安全・安定輸送の確保のためには現場で働く組合員・社員が「安全・健康・ゆとり・働きがい」を実感できる職場をつくり出す必要があります。その意味で労働条件・労働環境の改善は喫緊の課題です。従って、下記の通り申し入れを行いました！

〈申し入れ項目〉

【基本】

1. 労働条件や労働環境等に課題がありながらも、施策を担ってきた組合員の奮闘に対する会社の認識・評価を明らかにすること。
2. 受託会社として、「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」施策のこれまでの成果と今後の課題についての考え方を示すこと。また、今後の受託業務の将来展望について明らかにすること。

【共通】

(安全に関わること)

1. 同種事故・事象を発生させないために、原因究明を確実にを行い、職場の声を踏まえ再発防止に向けた対策を行うこと。

(労働条件・労働環境に関わること)

1. 年間休日数を109日からJR本体に準じて114日に増やすこと。
2. 半休制度の取得要件を廃止すること。
3. 寝具をJR本体と同様なものにする。
4. 輸送混乱時は、作業責任者に過度の負担が掛かることから、作業責任者の負担を軽減すること。
5. 清掃業務の過酷な労働実態の影響により、身体に異常をきたす社員がいることから、清掃業務特有の症状に苦しむ社員の現実を把握し、対策を講じること。
6. 急遽の欠員に対する要員の確保を行う場合においても、必要な教育・訓練を行うこと。
7. 新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5月8日に「5類」に移行されることを踏まえ、取扱いの変更点について明らかにすること。
8. カップの品質が悪く、着用後1時間もしないうちに雨が染みしてくるため、ゴアテックス等、品質の良いものに変更すること。また、防寒着は重く作業性が悪いいため、作業性の良いものに変更すること。

JETSの風

2023年4月21日
第 5 号
JR東労組運輸サービス協議会
発行責任者：倉茂 忠

運サ申1号「労働条件および労働環境改善に向けた申し入れ」提出 その②

(偽装請負に関すること)

1. JRからJETSへの発注作業が曖昧となっていることから、請負業務内容を明確にし、作業責任者が受託出来る業務の判断基準を明確にすること。
2. 輸送混乱時に信号担当者への作業指示が曖昧となり、情報提供として対応しているが、偽装請負とならないように業務発注のフローに基づいた運用を行うよう指導すること。

(技術継承に関すること)

1. 各事業所のプロパー社員育成状況を明らかにすること。また、事業所により技術継承にばらつきがあるため、プロパー社員の育成は計画的に行うこと。
2. 逆出向者の仕業検査見習い期間は、確実に技術を習得できる見習い期間とすること。
3. プロパー社員は、一担務の経験期間が短く、多くの作業者が業務に不安を感じているため、担務変更については本人の習熟状況をしっかり見極めた上で行うこと。
4. 多くの経験によって蓄積されたスキルが必要となる作業責任者、運転責任者、検修総括を担う上での必要な経験等の基準を明らかにすること。

(エルダー雇用に関すること)

1. 「シニア雇用制度」を踏まえ、エルダー雇用は本人希望を尊重し、経験業務を中心とした勤務箇所および業務とすること。
2. 希望する社員については、65歳以上の雇用を確保すること。

(教育訓練に関すること)

1. 運転と検修の定例訓練を分けずに行っている事業所があることから、定例訓練は運転と検修で分けて実施すること。
2. 新車導入時および異常時対応・応急処置訓練を行う際に、現車訓練の機会を増やすこと。
3. 担務指定のない日勤業務においては、基本的に教育や訓練時間に充当し、清掃業務に特化しないこと。
4. 派出業務の安全・技術レベルの維持向上のため、派出の教育訓練の充実を図ること。

【事業所別】

(田町事業所)

1. 白金4番～5番間の作業通路の踏み石に段差があり危険であるため、埋め込むか段差を無くすこと。
2. 昇降台のすべり止めテープを定期的に補修し、傷害事故を防止すること。
3. 喫煙所の煙が庁舎内に流れ込むため、喫煙所を個室にする等受動喫煙対策を実施すること。

(中原事業所)

1. 構内留置箇所において、地域住民からの騒音に対する苦情により無加圧状態で留置するようになったが、作業に支障が出ることから改善すること。
2. 信号所の建屋について、耐震化工事等を進めること。
3. 老朽化している業務用自転車了新車にすること。

JETSの風

2 0 2 3 年 4 月 2 1 日
第 6 号
J R 東 労 組 運 輸 サ ー ビ ス 協 議 会
発 行 責 任 者 : 倉 茂 忠

運サ申1号「労働条件および労働環境改善に向けた申し入れ」提出 その③

(弁天橋派出)

1. 詰所入口の雨漏れがひどいため、早急に修繕すること。
2. 寢室の二段ベッドをシングルベッドに交換すること。

(国府津事業所)

1. 構内入換無線機の感度が悪く業務に支障をきたすことから、早急に改善すること。
2. 防犯カメラ・ドアバックアップなどの車両部品の在庫がないため、業務に支障が出ていることから、必要な車両部品を確保すること。
3. 作業責任者と見習い者などが使用する4号詰所(休養室)は、老朽化により使用しづらくなっているため、防音、防寒、シャワー室を改善すること。

(平塚派出)

1. 貨物列車の通過音がうるさいため、寢室の防音対策を早急にはかすること。

(大船事業所)

1. 旧事業所事務所付近から南方ストップ付近までの作業通路が、経年による凹凸で運搬物の落下の危険性があるため、早急に改善すること。
2. 油庫横の雨水溜りが年々ひどくなり、歩行に支障をきたしているため、改善すること。
3. 台検庫内の気噴き場の吸塵能力を向上すること。
4. Pan 作成場は臭気のきついシール材を使用しているが、現在設置されている空気清浄器では効果が弱いため、清浄力の強いものに取り換えること。
5. 転削庫天井換気ファン付近からの雨漏れが機器配電盤や事務室内にまで及んでいる現状があり、漏電の恐れがあるため早急に修繕すること。

(逗子派出)

1. 逗子電留線の作業通路工事は終了したが、線路横断通路に段差があるため、段差をなくすこと。
2. 逗子駅構内での現車訓練を可能とすること。
3. 詰所移転に伴いホーム上からの出入りが遠回りになっているため、直近に出入り口を設けること。
4. 汚物により汚れたシートを洗浄する洗面台について、排水溝の大きいものを設置すること。
5. 現在、各自が業務用携帯電話にて連絡を行っているが、緊急時など一斉通報により情報把握をするために、無線機に変更すること。

(橋本事業所)

1. 総合庁舎・ホーム詰所の蛍光灯灯具が劣化しているため、灯具をLED化すること。

(三鷹事業所)

1. 男女更衣室、寢室、建屋の老朽化が目立つことから修繕すること。

JETSの風

2 0 2 3 年 4 月 2 1 日
第 7 号
J R 東 労 組 運 輸 サ ー ビ ス 協 議 会
発 行 責 任 者 : 倉 茂 忠

運サ申1号「労働条件および労働環境改善に向けた申し入れ」提出 その④

(小山事業所)

1. 休憩室の拡充整備を早急を実施すること。
2. 経年劣化している更衣室のロッカーを、新しいロッカーに置き換えること。
3. 検修 18・19 番線が不正短絡により、入標でルート構成をしているが長期間にわたるため、迅速に入信でルート構成が出来るようにすること。
4. 10両対応の転削線工事に進展がないことから、JRと連携を取り、転削線新設に向けた今後の見通しを明らかにすること。

(東大宮事業所)

1. 現行の詰所は清掃担当社員・仕業検査社員・構内運転士社員が使用し手狭なため、1階の会議室を仕業検査と構内運転士の共同詰所に変更し、働きやすい職場環境を実現すること。
2. 引き上げ線山側の歩行路が未整備で、夜間や雨天時は歩行が困難なため、アスファルト等の作業通路に整備すること。
3. 風呂場が狭く待ち時間が発生しているため、使用人数に見合った風呂場に新設拡大すること。

4月20日、JR東労組運輸サービス協議会は共通23項目、事業所別31項目、合計54項目にわたる申し入れをJR東日本運輸サービス本社に行いました。

**「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」
施策の実施から丸10年！**

「安全・健康・ゆとり」の実現！

そして、次代につながる職場を創り上げよう！